

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

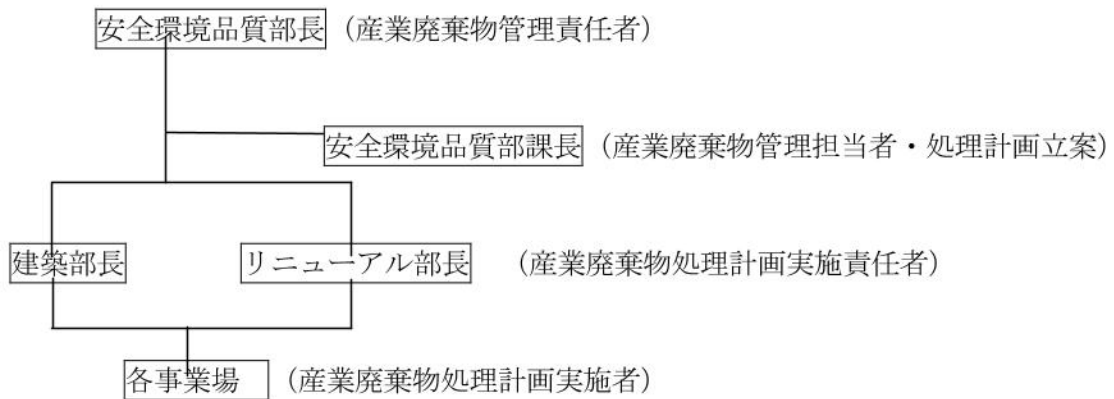
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成29年6月30日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都港区芝2-3-8	
氏 名 りんかい日産建設(株)東京建築支店	
執行役員支店長 前田祐治	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-5476-1796	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	りんかい日産建設(株)東京建築支店
事業場の所在地	東京都港区芝2-3-8
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業 (06)
②事業の規模	元請完成工事高 105.19億円
③従業員数	88名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	発生事業所にて保管 → 収集運搬業者へ運搬委託 → 処理業者へ処理を委託

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	排 出 量	2103.76 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ IS014001の運用により産業廃棄物の発生抑制に努めた ・ 不必要な過剰梱包の削減 ・ 工法の見直し検討による廃棄物削減施策の策定 ・ 発注者に対する設計変更等の提案による廃棄物削減の提案		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	排 出 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 愛知県内において、受注計画が無い場合、廃棄物発生計画無し		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工事の立地条件、敷地環境に応じて分別を行っている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 該当無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	全 処 理 委 託 量	2103.76 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託業者の事前審査による優良業者への委託 ・電子マニフェストの運用推進による廃棄物数量の適正把握		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	全 処 理 委 託 量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・平成29年度は愛知県内において、受注計画が無いため、廃棄物発生計画無し		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

平成28年度 産業廃棄物排出量実績(t)

平成28年度 産業廃棄物排出量実績(t)

コンクリートがら	アスコンがら	がれき	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	廃プラスチック	混合廃棄物	建設汚泥	石綿含有廃棄物	合計
1,580.00	0.00	0.00	48.00	254.00	4.50	191.00	26.26	0.00	0.00	2,103.76

平成29年度 産業廃棄物排出量計画(t)

[illegible]

平成28年度 産業廃棄物排出量実績(t)

平成28年度 産業廃棄物排出量実績(t)

[illegible]

平成29年度 産業廃棄物排出量計画(t)

[illegible]